

富山市教育委員会会議録

令和4年9月定例会

- 1 日 時 令和4年9月27日（火曜日）
午後 1時30分 開会
午後 2時20分 閉会
- 2 場 所 Toyama Sakura ビル5階 中会議室
- 3 出席委員 教育長 宮口克志
委員 若林啓介
委員 藤井久丈
委員 尾畑納子
委員 高田健
- 4 説明のために出席した者
事務局長 砂田友和
事務局次長（総務・社会教育担当） 古西達也
事務局次長（学校教育担当） 竹脇孝志
教育総務課長 本郷由佳
学校再編推進課長 山口雅之
学校施設課長 高瀬雅基
学校教育課長 川端紀代美
学校保健課長 宮前仁
生涯学習課長 高橋祐子
教育センター所長 河原弘幸
大沢野教育行政センター所長 片山尚之
科学博物館長 水高清志
郷土博物館長 坂森幹浩
- 5 職務のため会議に出席した事務局職員
教育総務課主幹 大島 聡
教育総務課長代理 余川 毅
教育総務課管理係長 河西 麻里子
教育総務課主任 廣岡 洋子
- 6 傍聴人数 0人

7 付議案件

(1) 報告事項

報告事項 30 9月市議会定例会における質問の概要について

報告事項 31 プラネタリウム投映室等の休止について

(2) その他

その他 16 富山市猪谷関所館企画展「片掛・茂住銀山から神岡鉱山へ。そして、KAGRA へ。」

その他 17 富山市郷土博物館特別展「富山駅 1 2 3 年一街の玄関口から中心へ」

その他 18 富山市佐藤記念美術館特別展「東南アジアの陶器ーベトナム・タイ・カンボジア」

8 会議の要旨

【開会】

[教育長] 開会を宣言する。
本日は、委員が全員出席しているため、会議は成立している。

【前回会議録について】

[教育長] 8月教育委員会定例会会議録について意見等を求める。

[各委員] (意見なし)

[教育長] 意見なしのため、前回会議録は承認された。

【報告事項 30】

[教育長] 報告事項 30 について事務局から説明を求める。

[教育総務課長] (報告事項 30 について説明)

[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。

[尾畑委員] 25 ページの日本共産党の赤星議員の質問について、いわゆるカルト団体の被害にあわないよう家庭科や社会科等で消費者教育を

行っているとのことだが、外部の講師を呼んでカリキュラムに組み込んでいるのか、それとも既に教科書に載っている内容を教えているという意味か。それとも今回の旧統一教会の問題があり、力を入れてやろうとしているのか。

[学校教育課長]

これまでも家庭科や社会科では、お小遣いの使い方や世の中の適切な金銭の動きなどについて学んできている。カルト集団に引き込まれないということだけではなく、子どもたちに消費者教育において売買契約の仕組みなどの話をした時に、教員が意識して子どもたちの様子に敏感になることが大切であると考えている。従来から、金銭や税に詳しい銀行OBや市の職員などを外部講師として招いて教育をしているが、そのような教育に加えて、担任や教職員が子どもたちの背景を探ることに敏感になっていきたいということを答弁に含めている。

[尾畑委員]

消費者教育に関する専門家の方がおられるのであれば、最近の社会環境と併せて、授業に組み込んで欲しいと思う。紙に書いてあることだけを教えるのではなく、現実の社会に応じた指導をこれからもお願いしたい。

[藤井委員]

4ページの富山市議会自由民主党の金谷議員の質問で、教育長は「『質の高い学び』を子どもたちに提供することは、市教育委員会の責務であり、教員の熱意と専門性を高めることが重要であると考えている。」と答弁されている。

専門性には、国語や理科などの分野の専門性もあるが、教員の総合的な能力を高めておかないと、子どもたちをリードしたり、自分たちの仕事をみんなで上手にやっていくことが難しいと思う。

「テクニカルスキル」と「ノンテクニカルスキル」という考え方があるが、コミュニケーション能力やチームリーディング、リーダーシップの取り方、状況把握など、そういう従来からの専門性ではない総合能力が教員には必要で、総合力も含めて専門性だと思う。専門性の捉え方は人によって違うと思うが、総合力が必要だと考える。

[学校教育課長]

新学習指導要領にも、これまで子どもたちが知識を学ぶということに傾倒してきたものを、今度はどのように学び活用していくかということに力を入れて、教員の専門性を磨いていかなければな

らないと謳われており、答弁の「専門性」にもそのような意味を込めさせていただいた。今現在、取り組んでいる課題ではあるが、永遠の課題であるとも思っている。

[藤井委員] 答弁の「専門性」は、広い意味でとらえて、全体的に伸ばしていくという意味だと理解できた。

[教育長] 他の答弁でも「特別な配慮が必要な子ども・不登校・学校に行きづらいと感じている子どもたちが増えている」というものがあった。教員が持っている知識や教科書を基に一方的に内容を教えるという形をこれまで続けてきた経緯はあるが、一人一人の子どもたちの実情やニーズに応じた指導がますます求められる時代になってきていると教育委員会でも認識している。

様々な教員研修や校園長会などで、私をはじめ担当者から「パラダイムシフト」ということを、機を捉えて話をしている。子どもたちの主体性をどう育むのかということもそのうちの一つであり、個別最適と協働的な学びについても文部科学省が掲げている。

非認知能力という言葉で一括りにしてしまっているが、人として生きていく上で大事にしなければならない資質・能力をしっかりと育むためにも、教員自身がしっかりと資質・能力を備えていくことが必要であり、それらを大事にした教育を進めていく必要がある。教育委員からご指摘いただいたことを研修の機会等を通じて、改めて教員へ指導していきたい。

[若林委員] 9月議会では4日間で12人という教育委員会関係の多くの質問があったが、議会全体の内容量からするとどのような量だったのか。多かった印象があるが、どのように感じられたか。

[事務局長] 今回約60件の質問があったが、それだけ関心が高く皆様から期待されていると受け止めている。私も今年度着任したばかりだが、教育長からは「本来はまだまだこのような程度ではない」と言われている。これからの時代を背負っていく子どもたちに対して相当な責務をもって臨まなければならないので、質問に対して惜しまず返答していく立場にあるということを改めて強く感じた。

[高田委員] 18ページの富山市議会自由民主党の横野議員の通学路の安全対策の質問について、107件の危険箇所が報告されていることもあるが、信号のない横断歩道で歩行者がいるにもかかわらず一旦

停止をしないドライバーが多い。信号が赤に変わりかけているときにスピードを上げて通過する車もある。特に低学年の児童に対しては、「車は絶対に停まってくれるとは限らない危険なもの」「自分で自分を守るという」ということをしっかり教えてほしい。

[竹脇事務局次長]

今のご指摘の件については、定例校園長会などで、信号のない横断歩道での停車率の悪さが富山県は全国ワースト4位だが、近隣の長野県は停車率の良さが全国トップというサンプルを教育長が示し、学校の安全教育の中で啓発してほしいと伝えている。停車してくれたドライバーに対して子どもたちが会釈をすることで、思いやりの相乗効果が生まれるような安全指導を校園長にお願いしてきた経緯があり、少しでも良くなればと思っている。

[教育長]

注意喚起を含めてしっかり指導していきたい。

【報告事項31】

[教育長]

報告事項31について事務局から説明を求める。

[科学博物館長]

(報告事項31について説明)

[教育長]

ただ今の件について、質問等あるか。

[各委員]

質問等なし。

【その他16～18】

[教育長]

その他16～18について事務局から説明を求める。

[大沢野教育行政センター所長]

(その他16について説明)

[郷土博物館長]

(その他17・18について説明)

[教育長]

ただ今の件について、質問等あるか。

[各委員]

質問等なし。

[教育長]

以上をもって本日の会議は終了したが、その他、質問はあるか。

[尾畑委員]

台風14号の対応について、早い段階で臨時休校という判断は良かったと考えているが、保護者からの問い合わせ等はなかったか。

[竹脇事務局次長]

19日の時点で休校の措置をとるという判断をした。休校措置の件と共に、子どもたち等への安全指導を可能な限り行うよう、教育

委員会から各校園長にメールで速やかに通知をした。幸いにも富山県・富山市には大きな被害が無く、各学校や子どもの安全面で問題があったという報告は受けていない。翌日は通常通り登校が行われたことを確認している。

[尾畑委員]

台風が予想していた勢力ではなかったため、休校措置への苦情等はなかったか。

[竹脇事務局次長]

そのような苦情等はなかった。

[教育長]

大きな勢力の台風ではなかったが、豊田小学校の防砂ネットが裂け、杉原小学校では雨漏りがあった。その他、数校の小学校体育館に避難所を開設し若干名が避難した状況があった。市としてどのように対応するか、今年度新しく開設された防災危機管理部と連携して気象台の情報を得ていた。保護者の方々の仕事のことを考えて前日の午前中に休校措置を通知した。夕方まで待てばより正確な台風情報が得られての判断が出来たと思うが、保護者の方が仕事を休むことや翌日の準備等に間に合わないと考え、前日の午前中に判断した。台風の影響の程度が軽く良かったと感じている。

[尾畑委員]

迅速な判断は良かったと思っている。

【閉会】

[教育長]

閉会を宣言する。